

山小屋トイレ等の改善推進について

長野県は、標高三千m級の山々が連なる3つのアルプスをはじめ、多くの山嶺を有し、全国から毎年50万人を越える登山者が訪れる山岳県であり、登山者の安心・安全の確保のためには山小屋はなくてはならない存在である。

さる6月9日に実施された環境省行政事業レビューにおいては、山小屋のし尿処理施設等の改善のための「山岳環境等浄化・安全対策緊急事業補助金」が廃止と評価されたことは非常に残念なことである。

山岳環境と下流域の水環境保全のために、当該補助金の活用により、山小屋のし尿処理施設等の改善を市町村・山小屋関係者とともに推進してきたが、今だ未整備の箇所もかなり存在している。

山小屋は登山者の安全確保、自然環境保全という公共的な役割を担う一方、厳しい立地条件下でのトイレ施設設置や改善には特殊な技術と多額な費用を要する。

今後も未整備箇所を減らすよう取り組まなければならないため、当該補助金制度を継続するよう要望する。

1 長野県内における取り組み

(1) 長野県

- ・平成11年度より当該補助金を活用した山小屋のし尿処理施設等の改善のための補助事業を創設。
- ・平成14年度より国庫補助の対象とならない事業費1千万未満の箇所に対する県単補助事業を創設。
- ・平成18年度より長野県内の山小屋の実態調査・民間のし尿処理技術の実証試験、し尿処理技術等の情報提供を実施。

(2) 市町村・山小屋関係者

- ・北アルプスエリア：「山岳観光地におけるし尿処理対策研究会」により事例発表や情報交換(H3～)
- ・御嶽山エリア：「御嶽山し尿処理施設等検討委員会」において具体的な改善策を検討(H21)

2 山小屋トイレの整備実績及び効果

(1) 整備実績

	トイレのある山小屋	トイレ改善済み数(H22未予定)	未改善数(H22未予定)	当該補助金での改善数	総事業費	一箇所当たりの事業費(概算)
国立公園	68	45	23	15	502,255千円	33,500千円
国定公園	47	39	8	13	754,147千円	58,000千円
県立公園	37	17	20	2	71,101千円	35,500千円
その他	11	10	1			
計	163	111	52	30	1,327,503千円	47,600千円

(2) 効果

- ・県内で最も改善の進んだ山域においては、登山者の増加がみられた。
- ・登山口等比較的山麓部の山小屋は補助金制度以前から自力により整備した箇所も見受けられるが、当補助金により稜線部等の地理的条件の悪い箇所の整備が進んだ。
- ・山小屋のトイレは汚いという理由からその周辺で用を足す登山者が見受けられたが、整備が進んだことにより周辺環境の保全が進んだ。
- ・下流の水質浄化がみられる。
北ア涸沢下流で定点観測中。(1980年と2010年との比較。検査項目は大腸菌・塩化物イオンなど)

3 今後の整備予定

平成 22 年 6 月のアンケート及び聞き取りによる調査の結果、自然公園内の未整備箇所 51 箇所の内、今後整備を予定しているものが約 6 割の 31 箇所であった。この 31 箇所が整備されると長野県内の山小屋トイレの整備率は約 9 割となる。

また、比較的整備が遅れていた県立公園内については、関係者の積極的な取り組みにより整備の機運が近年非常に高まってきたところである。

	未整備箇所	今後整備予定あり				整備しない
		3 年以内	5 年以内	未定	計	
国立公園	23	7	2	4	13	10
国定公園	8	1	0	3	4	4
県立公園	20	3	1	10	14	6
計	51	11	3	17	31	20

* 整備しない主な理由：経費が捻出できないなど。

4 事業廃止が山岳環境等に及ぼす影響等（問題提起）

改善への意欲が減退し山岳環境保全に支障

山小屋は、通過者へのトイレの提供や救難対策などを果す重要な施設であり、事業者をはじめ関係者の間では経済的・技術的な理由から長い期間慎重に施設改善を検討をしてきた。当該補助金が廃止されると、実施の見送りや、盛り上がった機運が急低下して改善が進まなくなる。

長野県においては、特に御嶽山をはじめとした県立公園内において影響が大きい。

既に当該補助金を活用した事業者とこれから活用を予定している事業者との間に不公平が生じる。

山小屋の整備は資金調達や関係法令の許認可等十分な準備期間が必要である。概ね準備から完成まで早くても 3 年にかかるといわれているため、いきなりの補助打ち切りは支障がある。

補助金無しでは山岳環境は守れない。

今の経済事情から経営の厳しい山小屋も多く、今後の改善要望が多い中で、補助金無しで改善を強行すれば経営破綻につながり、かえって山岳環境を悪化させてしまう。

また、登山者から使用料を取ってそれをトイレ整備費に充てることは困難である。